

人工授精師

の仕事

◎主な仕事

牛への人工的な授精や受精卵の移植によって家畜の生産や後継牛を確保します。

より良い牛への改良を進める大事な役割を担っています。

一日の 仕事の流れ

① 8:30

始業。
人工授精の依頼などを電話で受け付けます。



訪問先の農家さんをそれぞれ
担当地区の授精師に振り分け
します。

① 8:30~9:00



タンク内の
保管中の精液

忘れ物がないように
消耗品や精液、窒素の補
充などの準備をします。
重いタンクは20kgほど
あることも。



🕒 9:00

自分の公用車に仕事が
しやすいようにセッティング。



準備が出来たら出発
です。

🕒 9:00~12:00



農家さんに到着したら
稟告を聞きます。

台帳を確認して直腸
検査。



🕒 9:00~12:00

農家さんが指定する種雄牛の精液を授精します。



人工授精簿 (入力用)		技術者CD	技術者名
授精年月日	/ 年 5 月 / 日 ① AM 2 : PM	入力が終了したらチェック	
生産者コード	生産者氏名 農家さん		
家畜種類	10: 乳牛の雌等 20: 肉用牛		
耳標番号	個体識別番号	-	個体番号
加入区分	1: 加入 2: 非加入	001: 授精 002: 検診 003: 中止	031: 移植ダイ 032: 移植3S 033: 移植新鮮 034: 移植外注 035: 移植再発 036: 外新鮮 054: 外再新鮮 071: 事業精液 072: 事業卵 073: 事業和牛
種雄牛略号	授精した種雄牛		
採精年月日	年 月 日	メモ欄 じんろ処置としてきたり	
ラベル番号			
精液所有区分	1: 診療所 2: 農家 3: 生産者 → 所有者		
診療所	タンクNo.		
授精区分	1: 新規 2: 再発 3: 選注		
回数	回 本数 本		
経産牛区分	1: 経産牛 2: 未経産牛		

人工授精簿に記録。

13:00~14:00



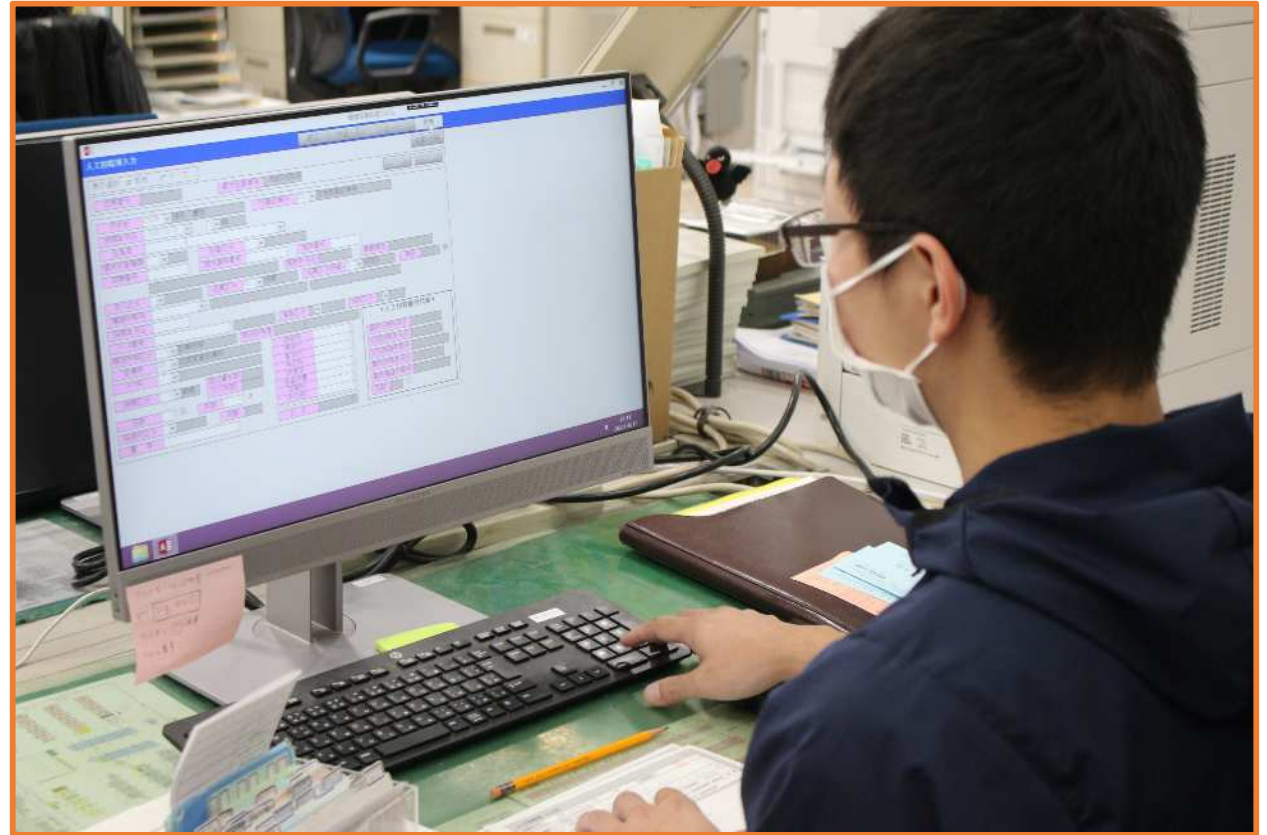
午後も人工授精に出発。

一日の訪問件数は
10件前後、
一日の授精頭数は
20頭前後です。



🕒 14:00~16:45

午後の人工授精業務を終えたら事務所に戻って人工授精簿を入力します。また、授精証明書等の発行も行います。



🕒 16:45



終業。
今日も一日お疲れ様
でした。

interview

家畜人工授精師
清水 慶信 さん
Shimizu Yoshinobu

2022年入組
オホーツク統括センター
北見家畜診療所
北見改良グループ 所属



Q NOSAI北海道へ入組を決めた理由は？

A 農家さんの経営の支えになり、自分が授精した牛が生まれるという魅力に惹かれ、家畜人工授精師を目指しました。その中でNOSAIは様々な研修を実施していて、授精技術の向上を目指せると思い入組を決めました。

Q 仕事のやりがい、楽しさを教えてください。

A 自分が授精した牛の受胎が確認できた時はとてもやりがいを感じます。また、回数を重ねるごとに以前はできなかったことができるようになっていくのがとても楽しいです。

Q NOSAIを一言で表すと？

A 「農家さんに寄り添った組織」だと思います。

Q 仕事をしていて大変だと感じることを教えてください。また、それをどのように乗り越えましたか。

A 牛も1頭1頭個性があり、子宮や卵巣の状態が違うので、発情かどうかを見極めるのが大変です。そんな時は先輩方にアドバイスをいただくことで技術の向上を目指しています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 卵巣などの診断の精度を上げ、受胎率の向上を目指し、畜主さんから「受胎率が良いね」と言っていたけように頑張ります。

Advice



清水さんから就職活動中の方へのアドバイス

さまざまな職場を見たり、体験すると思います。職場の雰囲気や自分の肌で感じ、自分に合った仕事や自分がやりたい仕事に就けるよう応援しています！

教育・ 研修制度

酪農・畜産を営む農家にとって、家畜の「安定的な繁殖」は欠かせません。家畜人工授精師職員は、繁殖業務の専門家として農家の安定経営に貢献することが仕事です。

そのためには繁殖技術の向上が欠かせません。NOSA I 北海道では、家畜人工授精師として一日でも早く活躍できるよう「新規家畜人工授精師実務研修会」をはじめ、繁殖関連の技術を学ぶ研修を各種用意しています。

